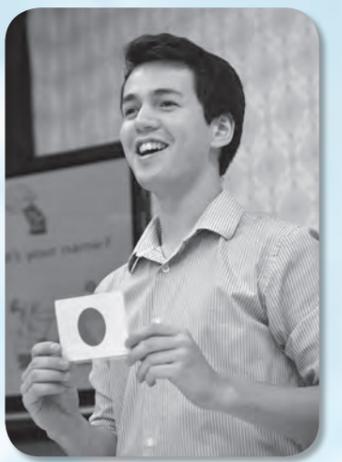


# 英語であれこれ 第3回



## イギリスのクリスマスの食べ物 Christmas Food in the United Kingdom

多くの国で、イギリスの料理は評判が悪いようです。特にフランス、ドイツ、イタリアといった大陸側のヨーロッパの国々では、「イギリス人は質素でつまらない食べ物しか食べない」というのがもっぱらの冗談として言われることです。こういう国はどこもすばらしい食べ物があるので、私もその冗談はあながち間違っていないと認めましょう！しかし、イギリスの伝統的な食べ物で、唯一自慢できるものがあります。それはクリスマスの食べ物です。



In many countries British cooking has a quite a bad reputation. Especially in continental European countries like France, Germany and Italy, the idea that British people only eat plain and unimaginative food is a well-established joke! These countries all have fantastic food, so I would admit that sometimes they may be right! But there is one example of traditional British food that I always defend: Christmas food.

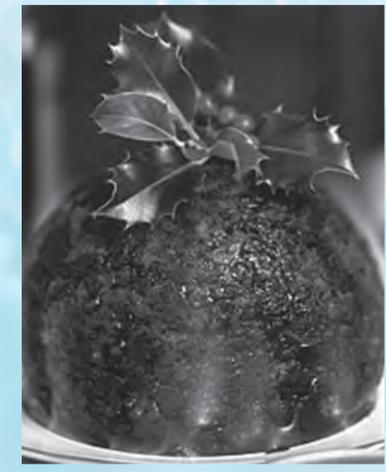
他の国と同じように、イギリスの人たちもそれぞれのやり方でクリスマスをお祝いしますが、どの地域でもまだ守られている伝統があります。

12月には、たくさんの方が「ミンスパイ」と呼ばれる、甘いスパイスと果物が詰められた小さなパイを好んで作ります。それから赤ワインに果物とシナモンを入れて温めた「マルドワイン」という、クリスマスのための飲み物を飲みます。



12月25日には今も多くで多くの家庭で、焼いた七面鳥と野菜に肉汁のソースをかけた伝統的なクリスマスディナーを食べます。チーズソースと焼いた西洋ネギもよく食べます。私の友人たちやその家族もそうですが、私の好きなクリスマスディナーと言

えば、「毛布にくるまれた豚」という名前で有名です。それは、ポークソーセージをベーコンでしましにするように巻いたもので、焼いたジャガイモと食べると本当においしいのです。



クリスマスディナーの締めといえば、クリスマスプディングでしょう。プラムや干しぶどう、イチジク、そして色々な種類のナッツやスパイスが入った、コクのある濃い色のケーキです。このプディングを取り分ける前に、上からブランデーを注ぎ、火をつけて数秒待つのが伝統です！アルコールはすぐに燃え尽きるので、プディングはしっとりしたまま、温かく蒸されます。12月の末の寒い日には申し分のない食べ物です！

# 広野文芸欄

季節を詠む 時流を読む

## 広野町霜月句会 猪狩行々子選



秋晴れや媪の杖の軽やかに  
命日の夫に供ふる栗おこは

中野 まち

太梁に音の沁み込む藁砧  
難病を告白さるる秋時雨

暁 月

赤とんぼのコーラス響く童謡祭  
球を追ふ子らの背中や秋の風

木幡 綾子

高架道の遥かに高く雁の棹  
閑日の音無く暮るる初時雨

遠藤 健太郎

朝露の芝に倒れる三輪車  
板扉にひと枝しだる百目柿

風 花

黄葉して縄文遺跡の大櫓  
古代人より我幸福かそぞろ寒

西山子

釣竿にまた来て休む赤蜻蛉  
復興の音となりたる稻刈機

悟 峯

猫じゃれて風の日和の枝垂れ萩  
震災後植えしオリーブ実の熟るる

塩 史子

### 会員募集のお知らせ

広野町俳句会では、会員を募集しています。俳句に興味のある方大歓迎です。俳句を通してみなさんと交流してみませんか。詳しくは、下の連絡先までお問い合わせください。

問 広野俳句会 ☎090-7063-1676

### まちづくり会議で町の未来を議論

今年度、広野町では第五次広野町町勢振興計画および広野町国土利用計画（第二次）の策定を行っています。町民ら18人で組織する「広野まちづくり会議」は、8月に行った住民アンケートなどを基に、ワークショップを開いて町の将来像についての基本構想を練っています。同会議には、町の将来を担う18歳以下の高校生2人も参加しています。



広野まちづくり会議の様子